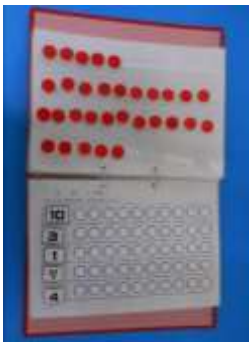
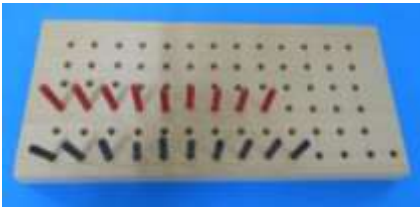
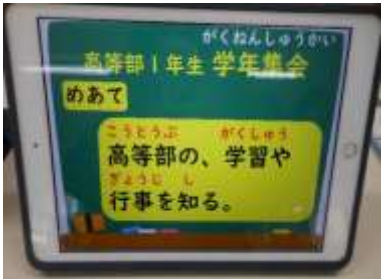
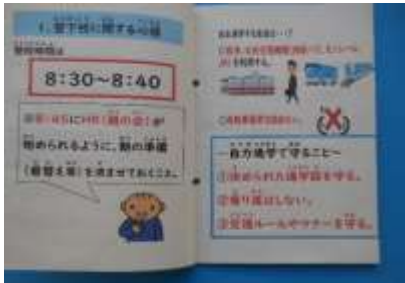


番号	教材教具名	教材教具の写真①	ねらい・使用方法・成果	教科領域等	学部
1	絵と文字のマッチング		ねらい - 絵を見て、その名称の文字をマッチングし、文字の塊として理解できるように作りました。 使用方法・成果 - 絵や文字を見ながら、文字カードを合うところに貼っていきます。	国語	小
2	言葉合わせ（絵とひらがな） 数合わせ（数字と数量）		ねらい - 身近な物の名称をひらがなで表記したものと絵柄を合わせることで、視覚的にひらがな文字の読み方を習得するようにします。 - 数字（1～3）と数量を合わせることで、視覚的に認知するようにします。 使用方法・成果 - 自立活動の時間に設定して取り組ませていきます。絵柄の名称を発声させて、あらかじめ読み方を確認しておき、文字とのマッチングを図ります。数量に関しては、身近なもの（おはじき）などとともに確認するとさらに効果が望めます。 - 繰り返し練習することによって、定着を図ってまいります。	国語 算数	小
3	ストローで形作り		ねらい - 図形の名前を知ることができます。 - 形作りを楽しむことができます。 使用方法・成果 - ストローとモールを使って見本の形と同じものを作ります。 - 平面から立体へと移行します。 - 集中して取り組むことができましたが壊れやすい点がありました。	算数	小
4	時計のマッチング		ねらい - 時計を見て時刻を読むことができますようにします。それにより帰りの時間等を意識できるようにします。 使用方法・成果 - 始めは、〇時だけ読む練習をします。次に〇時と〇時半を混ぜて読む練習をします。 - この教材を使うことで、児童が帰りの時刻が分かるようになりました。	算数	小

5	1～10までの数を見て ドットシールをはろう		ねらい ・1～10の数字の中で、数字に対してドットを置いていきます。数の概念が分かるように繰り返し練習するようにします。 使用方法・成果 ・本のようにして全部をマジックテープで繰り返しできるようにしています。10を1列に並べているものと10を2列に並べているパターンを作り、数字に対してドットを置いていきます。数の概念が分かるように繰り返し練習します。 ・成果：10を2列に並べているものは、はやくできるようになり、10の数を1列に並べているものは間違えることが多かったので、繰り返し行うことで理解できました。並んでいる数は感覚で分かっていると思われるので、バラバラのドットを数える練習をしたり、具体物で数えるようにしたりしていきます。	算数	小
6	数の教材		ねらい ・色々なものの磁石を並べて、数えたり、ドットカードを活用したりすることで数の概念を理解することに役立ちます。果物や動物、菓子などいろいろな磁石を並べて数える学習活動を通して、数詞の違いにも気付くこともできます。 使用方法・成果 ・算数の授業の中で、数字と同じ数だけ磁石を並べたり、磁石の数を数えて数字を書く学習活動を行いました。また、磁石を左右に分けて並べ、次に左右の磁石を合わせることでたし算の学習を行いました。色々な種類の磁石があり、動かすことができるので、興味をもって学習することができました。	算数	小
7	お菓子カード		ねらい ・お菓子カードを使って購入する金額を計算したり、数を数えたりすることができるようにしました。 使用方法・成果 ・所持金額を提示し、その金額の範囲内でお買い物ができるようにします。 - また、iPadのアプリや電卓を使って、計算の練習をします。 ・「おつかいをしてきてください。」と教師が伝え、教師が渡すカードと同じものを選び、マッチングを行います。 - また、好きなお菓子を「5個買ってきてください。」と伝え、かごにカードを選び取るようにします。 ・生徒が興味のある、お菓子のカードを使うことにより、楽しんでカードを選んだり、計算したりすることができました。	数学	中
8	4色箸入れ		ねらい ・色の弁別・作業の持続性 使用方法・成果 ・4色の箸と箸入れの色をマッチングさせて入れていきます。また入れた箸は4色に仕分けられた箱に入れます。 ・単純な箸入れ作業だとすぐに飽きる生徒も、色のマッチングを楽しむことで作業できる時間が伸びました。	数学 自立活動	中

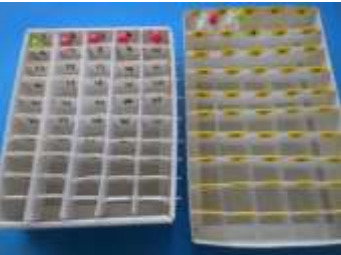
9	数をかぞえよう		ねらい ・数字と数量が結びつくようにします。 ・数を数えて、多い、少ないが分かるようにします。 使用方法・成果 ・数えて数字を貼ります。 ・赤枠と青枠の数を比べ、多・少を答えます。	数学	中
10	3色タレ瓶仕分け		ねらい ・色の弁別・手指の巧緻性向上 使用方法・成果 ・タレ瓶のキャップと容器を組み合わせます。また、3色に分けられた箱に入れます。 ・単純なタレ瓶組み立て作業だとすぐに飽きる生徒も、色のマッチングも楽しむことで作業できる時間が伸びました。	数学 自立活動	中
11	数数えボード		ねらい ・同じ色の棒を同じ数だけ並べるようにします。 ・棒の数を数えるようにします。 使用方法・成果 ・赤と黒の二色の棒をボードに立てることで、一人で簡単な足し算を行えるようになりました。	数学	中
12	ようふくやさんごっこ 着せ替え遊びセット		ねらい ・人形に着せてみたい服を選ぶ活動に楽しく取り組むようにします。 ・衣服の名称を覚え、活用するようにします。 使用方法・成果 ・「洋服屋さんごっこをしよう」の単元の導入に使用しました。『Tシャツ』『ズボン』といった衣服の名称を確認しながら、楽しく服を組み合わせました。自分たちが実際に服を選んで試着する「ようふくやさんごっこ」では、それぞれが好みの服を積極的に選ぶ様子が見られました。自分の着てみたい服がはっきりしており、鏡を見たり友達に見せたりする活動を楽しんでいました。	生活単元学習	小
13	折り鶴パズル		ねらい ・平和の象徴である折り鶴を一人一人が協力して作り上げるようにします。 使用方法・成果 ・一人一人がパズルのパーツを作ってみんなの前で自分のパーツをはめていって完成することができました。平和学習の取り組みとして実態が様々な児童たちが協力して平和の象徴を作り上げることができました。	生活単元学習	小

14	セルフレジ（タッチパネル）		ねらい ・セブンイレブンにおいて、ほとんどの店舗でセルフレジが導入されていることから、セルフレジの使い方を学び、タッチパネルでの操作に慣れるようにします。 使用方法・成果 ・段ボールで作製したセルフレジ本体に取り付けて使用します。 ・現金支払いでのセルフレジ操作を学習することを目的としているため、「現金」ボタンをタッチする時だけ次の画面に移るよう設定をしました。 ・新型コロナ感染症予防のため、実際に校外に出て買い物することができませんでしたが、セルフレジを作製したことにより、実際のセルフレジを想像して買い物することができました。	生活単元学習	小
15	セルフレジ（本体）		ねらい ・すべてのコンビニエンスストアでセルフレジが導入されたことを受けて、セルフレジでの買い物練習ができるよう、作製しました。 使用方法・成果 ・パワーポイント教材と組み合わせて使用します。 ・実際のセルフレジと同じ手順で、パワーポイントの画面を操作していきます。硬貨を入れたり、お釣りやレシートを受け取ったりする動作も、非接触で行うことができるようにしました。	生活単元学習	小
16	劇をしよう		ねらい ・学習したことを活かしながら、みんなで楽しく劇に取り組み、発表するようにします。 使用方法・成果 ・活動のたびに提示し、劇の流れが一目でわかるようにしました。各自が主人公となって、劇に楽しく取り組むことができました。子どもたちの主体的な動きを観て、保護者からも感動したとの感想が多く聞かれました。	生活単元学習	小
17	修学旅行事前学習スライド（4点）		ねらい ・修学旅行があることを児童が理解し、活動内容に見通しと期待感を持つことができるようにします。 使用方法・成果 ・スライドにそって授業を展開することで、児童が教師の話を楽しみながら聞き、興味を持って学習内容を理解できるように使用しました。 ・多くの児童が、積極的に教員の話聞き、問いかけにも積極的に答える様子が見られました。また、授業の後、修学旅行の話教師にしてくる児童も増えてきたことから、十分に児童の期待感を引き出すことができたと思われます。	生活単元学習	小

18	JR九州 模擬練習用券売機		ねらい ・券売機の使用の確認。(コインの入れかた、お釣りの取り方、切符の取り方、タッチパネルの押し方。) ・JR城野駅から小倉駅までの券の購入の仕方を覚えるようにします。 使用方法・成果 ・券売機の使用の確認、模擬体験。 ・校外学習の延期のため、現在使用していません。2月ごろ模擬体験を実施できたらと考えています。	生活単元学習	中
19	公共交通機関を利用して校外学習に行こう！		ねらい ・JRでの切符の購入やモノレールでの療育手帳を使った切符の購入の仕方を知るようになります。 ・JRやモノレールの料金、時刻の見方を知るようになります。 使用方法・成果 ・JRでの切符の購入やモノレールでの療育手帳を使った切符の購入の仕方を確認します。 ・JRやモノレールの駅名、料金表、時刻の調べ学習をします。 ・ノートサイズにすることで、校外学習当日に使用することができると考えています。(進路学習に繋げたい)	生活単元学習	中
20	「高等部の学習について」スライド		ねらい ・高等部の学習内容や行事について、昨年度までの様子や時間割表を見ながら視覚的に学ぶことができるようにします。 ・興味や関心をもった学習を選び、みんなの前で発表することができるようにします。 使用方法・成果 ・高等部の学習内容や行事のイメージを持つことができ、生徒の反応や発表の様子から興味や関心を持つことができたことが分かりました。 ・特に、グループ作業や班別作業への取り組み方や、自分自身が何の作業に取り組むことになるのか理解することができました。	生活単元学習	高
21	高等部心得手帳		ねらい ・自分たちで手帳をつくることで、高等部ではどのようなきまりがあるのかをより深く学び、知ることができるようにします。 ・いつでも高等部でのきまりを視覚的に理解したり確認したりすることができるようにします。 使用方法・成果 ・高等部でのきまりを学ぶために、スライドを用いて話をした後、内容を再度確認しながら生徒自身で「高等部心得手帳」を作りました。 ・実態に合わせて、重要なポイントを自分で記入、なぞり書きをしたり、イラストを貼り付けたりしました。 ・手帳にすることで、授業だけで終わるのではなく、校外学習や実習前など、その他生徒指導が必要な様々な場面において使用することで、視覚的にいつでも確認、指導することができます。	生活単元学習	高

22	投票用紙、入場整理券		ねらい ・高等部3年生（18歳）になり、選挙に参加できるため、実際の選挙の流れを体験できるようにします。 使用方法・成果 ・模擬選挙を行います。 ①入場整理券、マニフェストを配布します。 ②演説を聞き、立候補者の誰に投票するか考えます。 ③投票をします。（入場整理券を見せ、用紙をもらいます。） ④開票し、当選結果を発表します。 ・立候補者の演説を聞き、しっかりと考えながら、投票できていました。	生活単元学習	高
23	模擬ATM		ねらい ・卒業後、ATMを利用する機会も出てくると思うので、実際に近い形で体験できるように作製しました。 使用方法・成果 ATM体験の流れ お引き出し ⇒カード（入れる場所、カードの向き） ⇒暗証番号（1234） ⇒1千円 ※間違うと、初めからやり直しボタンを押して、戻るようにしています。手順を確認しながら、楽しそうに操作していました。	生活単元学習	高
24	修学旅行掲示物		ねらい ・修学旅行の行先や建物の様子を知るようにします。 ・模造紙にまとめることで、旅行に行くことへの意欲を高めたり、達成感につなげたりします。 ・廊下に掲示することで、様子を知ってもらったり、頑張りを認めてもらったりします。 使用方法・成果 ・「平和に関する施設」「宮島、厳島神社、錦帯橋」「ホテル、日程表作成」をクラス分担し、タブレットや本を活用し意欲的に調べ学習を行うことができました。 ・模造紙にまとめることで、絵を描くことや塗り絵をします。字を書く等、自分たちの得意なことやできることを活かし、進めることができました。まとめた模造紙を使い、発表会をすることで、発表する側は指差し棒で示し見せたり、自分の頑張りを他者に伝えることができました。また、観覧側は、行先の様子や生徒の頑張りを確認することができました。	生活単元学習	高
25	持ちやすいグリップ		ねらい ・グリップを柔らかい素材にし、太くしたことで握りやすくしました。生徒の興味のあるクリップをペンのキャップに取り付け、自力でキャップを外し、ペンが使えるように工夫しました。 使用方法・成果 ・右手でグリップを握り、左手でクリップ付きキャップを外し、線を書くことができます。 成果としては、興味のあるクリップをキャップに付けたことで、自分でペンを持ち、キャップを外すことができました。	生活単元学習	訪

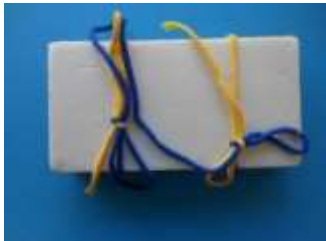
26	じゃんけんボックス		ねらい ・じゃんけんをすることが難しい子どもが、簡単にじゃんけんをすることができるように作製しました。表を見ながら、勝ち負けを判定するようにします。 使用方法・成果 「じゃんけんポン」の合図と共に、ボックスから、好きな札を取り出します。出された札を表と照らし合わせて、勝ち負けを判断するようにします。	生活単元学習	支
27	朝のスケジュール表		ねらい ・朝教室に来てからすることを、リストを確認しながら実施できることをねらって作りました。 使用方法・成果 ・朝すべきことを実施し、できたらカードをひっくり返します。 ・すべてのカードをひっくり返すことができれば、花丸になり楽しんで活動することができず。 ・最後に、生徒が好きな活動を取り入れ、意欲的に取り組むようにしました。	日常生活の指導	中
28	学期目標を作ろう		ねらい ・生徒自身が自己の生活を振り返り、その学期の目標を考えることができ、学期の終わりに目標に対しての評価ができるようにします。 使用方法・成果 ・学期の最初に「できていますか？」のチェック表で1日の生活や学習を振り返り、現在できていること、まだできていないことをチェックします。それをもとに、今学期自分が目標としたいこと、頑張りたいことを考えて、生活面と学習面の学期目標を作ります。学期の終わりに再び、チェックしながら目標に対しての評価をして、次学期の目標へとつなぎます。生徒が自身を振り返り、具体的な目標を立てやすいと考えました。	日常生活の指導	中
29	移動支援（チェーン）		ねらい ・移動先を意識（インプット）させること ・写真を見ることで、移動に見通しをもったり、スムーズに移動したりすること 使用方法・成果 ・移動先の写真が貼られたチェーンを日常的に使用することで、写真と行き先を意識できるようになります。 ・移動がスムーズになってきています。 ・今後は自分でチェーンをとって、移動できるようにしていきます。	日常生活の指導	中

30	移動バックの持ち物確認グッズ		ねらい - 移動バックの中の持ち物を間違えずに準備することができるようにします。 - 文字や口頭の指示だけでは指示理解が不十分な生徒に対し、視覚的に示し、移動バックの持ち物が理解できるように作りました。 使用方法・成果 - 持ち物グッズイラストを張り替えながら、生徒がそれを見て準備できるようにします。 - 支援グッズを使用する前は、10種類あるファイルを区別できず、間違ったファイルを準備することがありましたが、この教具を使用してからは、自分の持ち物を支援グッズを見ながら準備できるようになりました。	日常生活の指導	高
31	個別時間割表		ねらい - 見通しをもって活動を行うようにします。 使用方法・成果 - 下校前、当日の朝、授業の始まりや終わり等のときに、個別時間割表を教師と一緒に確認します。 - 自分で次の授業のファイルを準備するなどの姿が見られました。	日常生活の指導	高
32	並縫い確認板		ねらい - 布を使った並縫いの前段階で使います。 表、裏、表、・・・と板を裏返ししながら並縫いの手順を覚えるようにします。 使用方法・成果 - 糸を通す順番の穴に赤で色を付け、その上に数字を示して裏表を返ししながら並縫いをする練習に使用します。 - 色をつけたり数字を示すことで、それを頼りに間違えずに糸を通していくことができました。 - 布で並縫いをする時にも、「確認板」で練習したことを確認しながら並縫いすることができました。	作業学習	中
33	たれびん整理箱		ねらい 10分間、たれびんのふたをしめていく作業をした後、出来上がったたれびんを自分で数えるようにします。 使用方法・成果 - 出来上がったたれびんを順番に入れていきます。 - 時間が経ったら、自分で数を数えて記録します。 - 今までは、たくさんあって一人で数えることが難しかった生徒が多かったですが、きちんと並んでいるので、短時間で一人で数えたり、教師と一緒に数えたりすることができる生徒が増えました。	作業学習	高

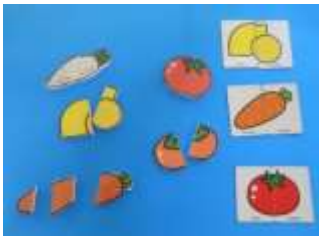
34	作業道具入れ		ねらい ・学年単位で作業学習を行う際に、個別に道具箱を使うことにより、コロナ感染症対策ができます。 使用方法・成果 ・火曜日1校時～4校時の高等部作業学習（グループ）では、Ⅰ・Ⅱ課程の生徒を中心に、卒業後に事業所でよく行われている作業内容のボルトナットのネジしめや分解、ボールペンの組み立てや分解、たれビンの蓋閉めや蓋外しなどを行っています。 ・成果：これまで、作業道具を大きなケースにトレイなどに小分けしてまとめ、教師が授業前に準備をしていました。新型コロナウイルスが流行し、使用後の消毒等に、教師の負担は大きなものでした。今年度、夏休み前に、高等部職員で検討を重ねて、個別の道具箱を80個準備しました。授業準備と、消毒の負担軽減につながりました。	作業学習	高
35	「カスタネットにジャンプ！」		ねらい ・ジャンプが苦手な児童に、少しでも高く飛べるよう考えてみました。高さを少しずつ上げていきチャレンジさせていきたいと思います。 使用方法・成果 ・吸盤を張り付けることができる壁にカスタネットを取り付け、一度教師が見本を見せます。その後、児童の高さに合わせて跳ばせてみます。音を鳴らすことができれば少しずつ高さを上げて行きチャレンジさせます。 ・数名の児童にジャンプさせてみましたが、とても楽しそうにジャンプしてくれ、「高く上げて！」とリクエストしてくれました。数センチしか跳べなかった児童が、10cm近く跳べるようになりました。	保健体育	小
36	大型スターター		ねらい いわゆる「よいい、ドン！」の場面で使用します。通常、教師の声とホイッスル等の音がスタートの手掛かりになりますが、スタート前の体や気持ちの構えができにくく、ホイッスルの音を耳障りと感じる子どももいます。この教材は時報前の音と同じ「ポッ、ポッ、ポッ、ピー」という耳障りの良い音に加え、赤黄青のランプの点灯で視覚的な支援を加え、スタートに向かう構え作りを支援します。 使用方法・成果 電源に繋いで、スイッチを押すだけです。誰でも簡単に使用できます。運動会などで使用すると、友達や家族の前で「スタート係」を担当できます。 「ポッ、ポッ、ポッ、ピー」の音は、教室程度の空間でなら十分な音量ですが、体育館や屋外での使用では音量が足りず、聞こえにくくなります。その際はマイクで音を拾うなどの工夫が必要です。 ※注1 電源は家庭用100Vのコンセントから供給するため、接続したまま乱暴に扱うと、感電の恐れがあります。丁寧に扱ってください。 ※注2 大型の機器のため、転倒しないよう、平らな安定する場所へ設置してください。	保健体育 日常生活の指導等	教務
37	リズム楽譜		ねらい ・リズムを理解するようにします。 ・1拍の中に、リズムがいくつ入るのか分かるようにします。 ・拍の頭が分かり、友達とリズムをそろえることができるようにします。 使用方法・成果 ・四角の中に、リズムカードを1枚ずつ貼ります。 ・リズムカードを見て、手拍子をしたり口ずさんだりします。 ・リズムカードを指さしながら、練習や合奏を行います。 ・拍ごとに区切ったカードを見て、1拍の音価が分かりリズムをそろえやすくなりました。 ・リズムカードを見ることで、さまざまなリズムの違いに気付くことができました。	音楽	中

38	i Pad 撮影 スタンドマスター！！		ねらい ・オンライン授業を行う際に、快適に授業の様子を撮影でき、各教室により良い配信を行うようにします。 ・生徒の授業の様子を撮影する際に、固定して撮影できるようにします。 使用方法・成果 ・密を避けて、各教室でオンライン授業を受けることができます。 ・手振れがないため、映像が見やすくなります。 ・教師の負担が減り、生徒への支援や見守りに重点をおくことができます。 ・固定して録画した映像をその場で見て、振り返りに使用することができます。 ・録画機能があることにより、前時の振り返りやその場での振り返り、その授業に参加することができなかった生徒が後日見ることができます。	音楽	高
39	からふる マラカス		ねらい ・音楽に興味を持って取り組めるよう作製しました。中に入れる物を変えることで、いろいろな音が楽しめると同時に、飾り付けすることで、見て楽しめるようにしました。 使用方法・成果 ・好きなマラカスを選び、振ったり、回転させたりして音を出して楽しめます。目で見て楽しむこともできます。 ・身近な物を利用して簡単に作ることができるので、図工等で作ってみんなで演奏してもよいと思います。	音楽	支
40	はなれてみよう！		ねらい ・10月10日の目の愛護デーに関連して、本やタブレットはどれくらいの距離感で使用しなければならないのか知って、目を大切にしてほしいと思い作製しました。 使用方法・成果 ・眼鏡を目にあててひもを伸ばすと、本やタブレット・テレビを使用するときに適した長さになっています。	特別活動	養護
41	きゅうしょくかくにんセット		ねらい ・給食確認に楽しく取り組む練習をするようにします。 ・「お皿」や「おわん」といった名称を覚え、自ら発声するようにします。 使用方法 ・トレイをイメージした画用紙の上に給食を並べ、教員の声掛けに合わせて、指差しを行います。 ・確認が終わった後は、牛乳の開け口をめくる動作やストローを牛乳に挿す動作の練習を行います。 ・実際の給食の確認の際に、大きな声で返答できるようになりました。 ・牛乳の開け口を開ける動作が一人でできるようになりました。 ・お皿やおわんといった名称を覚え、発声できるようになりました。	自立活動	小

42	お子様プレートを作ろう		ねらい ・小さいボタンを留める練習をするようにします。 使用方法・成果 ・好きなおかずを選び、プレートにボタンで留め、お子様プレートを完成させます。 ・自分オリジナルのお子様プレートを作ることで、楽しみながらボタン留めの課題に取り組むことができるようになります。 ・プレートをポーチに縫い付けることで、課題が終わった後、おかずのフェルトをポーチの中に自分で片付けることができるようにしました。	自立活動	小
43	りんごがいくつみのるかな？		ねらい ・小さなフォック留めの課題で手指の巧緻性を高めるようにします。 使用方法・成果 ・フェルト素材で作ることで、手触りを柔らかくしました。 ・数字を読むことで、留められた満足感を味わい、数に親しむことができました。	自立活動	小
44	ふくろづめをしよう		ねらい ・目と手の協応動作やよく見る力、手指の巧緻性を高めるようにします。 使用方法・成果 ・見本をよく見て作業する力がつきました。 ・ジッパーの開け閉めで、手指の巧緻性が高まりました。	自立活動	小
45	ペットボトルキャップを利用した教材		ねらい ①三指を使って、ペットボトルのキャップを閉めることができるようにします。 ②位置関係の認知力を高めるようにします。 使用方法・成果 手先を使う動作の際、人差し指を使わず、中指と親指を使う児童に作った教材です。位置関係は、色、数字、ペットボトルの絵などを使い、マジックテープで位置を変えられるように作りました。 (使い方) ・三指を使ってペットボトルのキャップを閉めます。はじめは、キャップのみを閉め、慣れてきたら、図を見て、同じ位置にキャップを閉めるようにします。 ・アンパンマンのキャップ入れは、指先で押し込んで入れます。 (成果) ・三指を使ってしめるようになりました。位置関係は、一列のマッチングからはじめ、3列を練習中です。	自立活動	小

46	色のマッチング		ねらい - 手指の巧緻性や目と手の協応動作を高めることをねらいにしました。 使用方法・成果 ①同じ色同士のキャップとタレピンをマッチングさせ、キャップを閉めます。 ②キャップを閉めたタレピンを、同じ色の箱に入れます。 ※タレピンのケースは、キャップと同じ色をマジックで塗ります。 - 指先を使って、キャップを閉めることができました。色を弁別しながら、マッチングすることができるようになりました。	自立活動	小
47	リボン結び練習		ねらい - リボン結びを自分でできるようにします。 使用方法・成果 - 紐の色を左右で変えることで、それぞれの紐の動きが分かるようにします。 - 手順書のイラストを見ながら、見通しを持って作業をすることができるようになります。	自立活動	小
48	ボタンのはめはずし練習具		ねらい - 手元をよく見て、ボタンのはめはずしを行うようにします。 使用方法・成果 - 一枚ずつフェルトをボタンからはずしていき、全部はすれたら、次ははすしたフェルトを一枚ずつボタンにはめていきます。 - 手元でボタンのはめはずしの練習を行うことで、よく見て練習を行うことができます。	自立活動	小
49	はずして、ポン！！		ねらい - 手指の巧緻性向上 使用方法・成果 - 固定されているフィルムケースの本体を、手で掴んで外します。時間を計って記録を付けてもよいです。 - 堅いフィルムケースを外せても、嵌めるのはコツがいります。力のいれ具合で上手く嵌まったり嵌まらなかったりします。初めは上手くできない児童生徒も、上手に力を入れて嵌められるようになってきます。	自立活動	小
50	1から10の数のマッチング		ねらい ①1から10までの数の学習 ②つまみ動作の獲得 親指、人差し指、中指をしっかりと使ってつままないと開かないので、箸や鉛筆のつまみ動作に向けた練習になります。 ③目と手の協応力UP 目で見てそこに手で持っていくという協応能力がやっていくうちにっていきます。 使用方法・成果 動物が好きな児童のために作ったので、楽しみながら数に親しむことができました。	自立活動	小

51	色と形の合成・分解		ねらい - 色と形、2つの属性の理解を同時に深めたり、「青色の三角」など2つの属性がついた物への理解を深めたりすることをねらいとして制作しました。 使用方法・成果 ①「赤色の丸」「黄色の四角」など、手に取ったものの色と形を言います。 ②2つの属性が当てはまる個所へ、手に取った色の形のチップを貼り付けます。 ③他の色と形が完成するまで、①、②を繰り返し実施します。 ※「黄色い星を下さい」「緑の丸を下さい」など、声かけをし、当てはまるチップを取らせていくやり方もあります。	自立活動	小
52	給食の食材		ねらい - 給食に使われている食材に興味を持ち、調理される前の食材の色や形を知ることができるようにします。 - 語彙を増やし、会話の幅を広げるようにします。 使用方法・成果 - 献立の確認の後に、今日使用されている食材を選び、「今日は〇〇と〇〇が使われています。」と食材の紹介をします。 - 献立に興味がある児童が、食材を知ることによって会話の内容が増えてきました。食材の名前や調理される前の元の形を知ることができ、自分から話をしない児童が食材を手に持ち「ねぎ」「とうもろこし」などを伝えるコミュニケーションの一つとして活用できています。	自立活動	小
53	お弁当屋さんごっこ		ねらい ①ごっこ遊びをしながら、二者択一のやりとりを学ぶようにします。 ②iPad「ドロップトーク」の練習。 使用方法・成果 お弁当屋さん:「〇と〇、どちらがいいですか？」 お客さん:「～をください」 のやりとりをしながら、お弁当を完成させます。 ドロップトークで、「～をください」を作成し、伝えます。 選択の苦手な児童が、二つのものから一つを選ぶことができるようになりました。日常生活の中でも、選択がスムーズになりました。 ドロップトークの使い方を覚えることができました。	自立活動	小
54	○△□マッチング		ねらい ○△□の形をしっかりと観察し見本と合わせることができるようになります。 使用方法・成果 ①マッチングさせる見本の紙を用意します。 ②数字の順番にマッチングします。 ※できるようになれば、○△□の色をすべて同じ色にして、難易度をあげてみます。 ・最初は、数字の順番を関係なしにマッチングしていましたが、数字を記入することにより、順番に貼ることができるようになりました。将来作業系のことをすることが多くなると思うので、チャレンジしてみました。	自立活動	小

55	つまんでとめよう		ねらい ・つまむ力の向上 (経緯：家庭の授業で縫物をする際、布を重ねて摩擦力が高まると、縫い針を抜き取ることができなかったために行いました。) ・色のマッチング 使用方法・成果 使用方法 ・テープの色に合わせて洗濯ばさを止めていきます。 ・縫い針を抜き取ることが今までよりできていくように感じます。	自立活動	中
56	絵合わせパズル		ねらい ・平面的な絵では形の把握が難しい生徒に対して、形や色に着目して形作りを学習するようにします。 使用方法・成果 ・必要に応じて色で分けて使用します。 ・操作性の向上とぴったりと合わさった感覚が持てるように厚みを持たせているため、カードでの絵合わせが難しい生徒でしたが、この教材であれば同じ絵でも絵合わせをすることができました。	自立活動	中
57	すうじボード		ねらい ・1～10までの数字や数の概念や読み方を学ぶようにします。 使用方法・成果 ・1～10までの数字や読み方を並べたり、数のマッチングをしたりすることができます。 ・全部のパーツを外して考えさせたり、所々穴埋め形式で考えさせたりします。 ・子どもの実態に応じて、5までの数としても活用できます。 ・マジックテープを使っているので、くっつけたりはがしたりして楽しみながら学習できます。 ・ファイルに収納しているので、持ち運びや整理がしやすいです。	自立活動	中
58	時間割 マッチング		ねらい ・一日の時間割の流れを理解できるようにします。 使用方法・成果 ・登校後に、一日の流れを見せ、活動が終わるごとに教科をはがします。 ・見通しが持てるようになります。	自立活動	中
59	果物マッチング		ねらい ・身近な果物の名前を覚えながら、ひらがなを覚えるようにします。 使用方法・成果 ・繰り返し練習することで、間違えることなくマッチングすることができるようになりました。	自立活動	高

60	ボタン通し		ねらい ・手指の巧緻性が低い、指先の力が弱い、手先の不器用さがあるなどの実態を抱えた生徒に対する教材です。この教材を使用することにより、指先の力を高めたり、手指の巧緻性の向上を図ったりすることができるようにします。 使用方法・成果 ・ボタンの留め外しを行います。 ・フェルトの中にボタンを通します。 ・指先の力や手指の巧緻性の向上を図るために、徐々にボタンの大きさを変えていきます。 ・この教材を使用したことによって、指先の力や手指の巧緻性の向上を図ることができました。また、ボタンの留め外しもスムーズに行うことができるようになりました。	自立活動	高
61	ファスナーあそび (簡単手作り)		ねらい ・ファスナーの開け閉めの練習が楽しくできるように作製しました。 使用方法・成果 ・縦・横・斜めのファスナーを、開けたり閉めたりします。ファスナーを開けたら中の模様が見え、「開けた」ことが目で見て分かるようにしました。	自立活動	支
62	バックルをとめよう		ねらい ・リュックサックや服についているバックルの留め外しが難しい子ども達に、ゴム紐を引っ張ってバックルを留めたり外したりする練習をします。 使用方法・成果 ・外してあるバックルを留めていきます。 ・留めてあるバックルを外していきます。 ・生活の中でバックルの留め外しが楽にできるように、繰り返し練習するとよいでしょう。	自立活動	支
63	クリップをとめよう		ねらい ・指先の力の調節や細かい動きが苦手な子どもに、クリップをはさんで留める練習をします。上手にできるようになったら、日常生活でも、プリントをたばねてとめたりする際にクリップを使ってみましょう。 使用方法・成果 ・黒くマーキングされた場所に、クリップをとめていきます。クリップやマーキングの大きさをいろいろにして、大小を見分ける練習を入れ込むこともできます。	自立活動	支
64	椅子用足のセバンド		ねらい ・授業中にじっと椅子に座っていることが難しい子どもに対して、足をのせて動かすことで刺激を入れ、椅子に座れる時間を増やすために使用します。 使用方法・成果 ・児童生徒が使用している椅子に取り付け使用します。 ・児童生徒の実態に合わせて、バンドの種類（強度が違う）を変更することで、好みの刺激を入れることができます。	自立活動	支

65	よく見て 積んでみよう！		ねらい ・見本カードを見ながら、同じマークのものを積んでいくことで、視空間認知の力を育むようにします。平面ではなく、上に積むことで上、下の空間認知の力をつけるようにします。バランスをとって積む必要があるため、手指の力加減（コントロール）の力もつけることができます。 ・見本カードを見ながら、同じマークのものを積んでいきます。少ない数からレベルに合わせて取り組むことができます。	自立活動	支
66	おにぎりケースVOCA (キット)		ねらい ・言語・非言語を問わず、発信に何らかの苦手を持ち、コミュニケーションに対しての意欲が低い児童生徒に「伝わる実感」を感じさせ、もっと「伝えたい」「発信したい」という意欲を生み出すことをねらう教材です。VOCA（Voice Output Communication Aid）の一種である本教材は、10秒間1メッセージの録音ができ、携帯性に優れ、安価（キットとして購入できる）です。おにぎりケース以外に入れ物を使うことができ、対象の子どもの興味関心をひきつけるもの（キャラクター等）に簡単に交換できます。 使用方法・成果 ・ケースのふたを開けると赤いボタンがあり、これを押しながらメッセージを吹き込みます（10秒以内）。ケース表面の黄色いスイッチを押すと、録音された音声再生されます。 ・「おはようございます」「いただきます」「さようなら」等、毎日繰り返す内容を吹き込んで使います。 ・「よっしゃー！」「アッカンベー」などの言葉を吹き込んで、教師とやり取り遊びをします。等々。 ※注 使用にあたっては、子どもが自分の声として認識し発信できるような内容や場の設定を工夫する必要があります。 (株)エスコアール おにぎりケースVOCAキット https://escor.co.jp/products/products_item_E_kit_onigiri_case_voca.html	自立活動	教務
67	EG-AssiT（タイムエイド）		ねらい ・時計の読み取りができない児童生徒も、タイムエイドを使えば「あとどれくらい」という時間の見通しを持つことができます。作業学習などでは教師から指示を受けなくても、自分の力で進めることができます。さらに、日常生活の様々な場面において時間の見通しを持つことで、指示されたり、注意を受けたりする機会が減り、「自信をもって」「安心して」生活できる基盤が生まれます。 使用方法・成果 ・タブレットでタイムエイドアプリを使えるようになりましたが、本教材はサイズが小さく手軽であるとともに、学校でよく使われる時間設定を10通り（30秒・1分・2分・3分・5分・10分・15分・20分・30分・40分）プリセットしてありますので、すぐに活用できるというメリットがあります。また、設定時間が来るとスイッチが入る機能があり、電球をつける・音楽を流す、メッセージを再生する等、より分かりやすいフィードバックを設定することもできます。 ※本教材は、北九州高等専門学校ロボコンチーム「あばうたあ〜ず」の皆さんのご協力により作成されました。現在は販売されていませんが、各地の特別支援学校で、まだまだ現役で使用されています。参考出品させていただきます。	自立活動	教務